

J **apanese text**

2010年 春/夏号 日本語編

旅

花遍路

——全国50の「花の寺」に春を訪ねて

撮影=水野克比古 (p.96 ~ 100、103)、竹前 朗 (p.98、101 人物)、
原田 寛 (p.105) 構成・文=遠藤賀子
執筆協力=塚田京子、前島純子、日下智幸

p.097

寺では、そこに住むご住職が、季節を通して、仏に捧げるための花を、心を込めて育てている。仏に感謝の気持ちを込めて、そして訪れる私たちの心を和ませるために、育てられたその花たちは、毎年その華麗な姿を見せてくれる。歴史ある寺院の建築を背景に開花する、春と初夏の草花を訪ねて、花遍路の旅へ出かけよう。

(p.097) 朱印はその寺独自のスタンプ。写真は朱印を集めるための手帖。寺に参拝したよい記念になる。

長い歴史のある京都・奈良の花の寺

p.098

遷都 1300 年の奈良、政治と文化の中心だった京都には、1000 年の歴史を持つ古刹が集まり、花が咲く境内も広く見ごたえがある。

かじゅうじ 勸修寺 花菖蒲

ひむろ 氷室の池を中心とする勸修寺の回遊式庭園は、寺の敷地の3分の2を占める。氷室の池は、平安時代に貴族が船を浮かべて遊んだという雅なもので、ここは京都に196ヶ所造られたという氷室の池のひとつ。正月の1月2日には氷室の池にはった氷を切り出し宮中に献上して、その氷の厚さでその年の豊作の吉凶を占ったという。

池には睡蓮などの水生植物が一面に咲き風雅な趣で、平安時代の貴族文化の面影を今に伝えている。

勸修寺は平安時代の西暦 900 年、和歌の振興に力を注

いだ醍醐天皇が母の菩提を弔うため、母の実家の邸宅を寺に改修したといわれている。こうした由来から皇室と縁の深い、品格の高い寺院とされてきた。

5月には杜若、6月には花菖蒲、7月には蓮が次々に咲く。睡蓮と月ごとに違う3種類の花の取り合わせを觀賞できる。睡蓮は午前中に咲くので、昼前に訪れるのがおすすめだ。

京都市山科区勸修寺仁王堂町 27-6 Tel. 075-571-0048

拝観 / 9:00 ~ 16:00 交通 / 市営地下鉄東西線小野駅から徒歩 6 分

(p.098) 氷室の池の花菖蒲と睡蓮。

左は勸修寺の筑波常遍住職。

りょうあんじ 龍安寺 睡蓮

p.099

だいうんぜん 禅苑の名刹、大雲山龍安寺は、有名な枯山水の石庭があり、京都の中でもとりわけ観光客に人気だ。春、夏、秋、冬と、季節を通して趣を変える石庭。しかし、同じ敷地内に風光明媚な鏡容池という池があることに気づく人は少ないようだ。後方の山々を借景にしたこの鏡容池は、とくに春から夏にかけて色鮮やかで、睡蓮、杜若、花菖蒲、蓮、桜、雪柳、ツツジに藤と花々に包まれる。白い玉砂利と15の大石を巧みに配したシンプルな石庭と、四季折々の水生植物に彩られた池の庭園の違いを比べながら觀賞するのも面白い。また龍安寺は1994年、「古都京都の文化財」のひとつとして世界文化遺産リストに登録された。

京都市右京区龍安寺御陵下町 13 Tel. 075-463-2216

拝観 / 8:00 ~ 17:00 (12月~2月は8:30 ~ 16:30)

交通 / 京都駅から市バス 50 番で立命館大学前下車

徒歩 7 分 <http://www.ryoanji.jp/>

(p.099) 橋がかかった鏡容池は、大きな松や四季折々の花に囲まれている。

はせでら
長谷寺 牡丹

p.100

686年、奈良の、当時は豊初瀬とよはつせという名で呼ばれていた土地に建立された長谷寺。平安時代には、行楽もかねた長谷寺参りが貴族の流行になったという。以来、本尊十一面観音菩薩には多くの参拝客が訪れるが、とくに長谷寺が女性の人気を集めているのは、根強い観音信仰（人々を苦しみから救ってくれる仏像とされる）に加え、さまざまな花が咲く境内の景色ゆえんだらう。「花の御寺」とも呼ばれる境内。春には登廊の周囲に150種類7000余もの牡丹が咲き、東洋一とも称される。舞台造りの代表建築である本堂と、枝垂れ桜の景色も一見の価値がある。また五重塔の下にはピンクの石楠花が咲き乱れる。ほかに春には山水木、木蓮、山吹など、初夏には1万株もの紫陽花がいつせいに咲く。

お香や仏に供える灯火である灯明と同じく、花は観音様のお供えに欠かせないもの。寺が花を育てているのは日々、季節の花を捧げるためだ。観音様へのお供えと同時に、四季の花々は参拝客の心も和ませている。

奈良県桜井市初瀬 731-1 Tel. 0744-47-7001

拝観 / 8:30 ~ 17:00 交通 / 近鉄大阪線長谷寺駅から徒歩 15分
http://www.hasedera.or.jp

(p.100) 寺の古い建物の中に咲く色鮮やかな牡丹（左）と紫陽花（下）。長谷寺では一年を通じて絶えることなく花が咲く。

おかでら
岡寺 石楠花

p.101

奈良県明日香村あすかむらの東にある岡寺は、1300年以上の歴史があり、日本で最初の厄除け霊場として知られている。西国33ヶ所観音霊場（近畿地方を中心とした観音菩薩を本尊とする33の寺を巡礼する）の第7番札所でもある。本尊は日本三大仏に数えられる如意輪観音坐像にょいりんかんのんざぞう。苦しみから解き

放ち、願いをかなえてくれるとされる仏像・如意輪観音の最古のものとして重要視されており、土でできた仏像としては日本で最大。重要文化財にも指定されている。寺は岡山おかやまという山のちょうど中腹にあり、春になると奥の院を中心とした山手に3000株もの石楠花が咲き乱れる。境内の参道の脇にもまるで石楠花のトンネルのように咲く。他にも春には牡丹、ツツジ、サツキなどが境内を春の色に染める。ご住職は毎朝明るくなると、花の手入れを欠かさないと。

奈良県高市郡明日香村岡 806 Tel. 0744-54-2007

拝観 / 8:00 ~ 17:00 (12月~2月は~16:30)

交通 / 近鉄南大阪線榎原神宮前駅から岡寺前行きバスで16分、岡寺前下車徒歩10分
http://www.4.kcn.ne.jp/~balance/top.html

(p.101) 牡丹で有名な京都おとくにでらの乙訓寺の住職も兼任する川俣海淳住職かわまたかいじゆん（左）。古木の中に石楠花が咲き乱れる光景は圧巻（上）。山野草も50~60種類見られるという。

関西花の寺 25カ所霊場

p.102

「関西花の寺 25カ所霊場会」は、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県の関西2府4県の、花がきれいなことで知られるお寺が集まって結成された会だ。宗派の違いを超えて、花を媒介としてお寺が一般の人々に貢献できる場を目指すのが同会の趣旨。発起人である観音寺のこやぶじつえい小藪実英住職は、「皆さんにお寺まで足を運んでいただくためにはどうしたらよいか、いろいろ思案していたときに思い浮かんだのが花でした」と語る。1970年代、兵庫県尼崎市内の高校で教鞭をとっていたという小藪住職、当時、日本は公害問題が深刻化しつつあった時期で、ふと近くのお寺に立ち寄ったときに気持ちが安らぐのを感じ、緑や花があることの大切さを痛感したという。「だから観音寺を継ぐことになったときに考えたのは、いきなり仏様というよりも、境内

に花があればそれを楽しみに参拝してもらえないのではないかと、ということ。最初は花を觀賞することが目的でも、徐々に仏様に親しんでいただければいいと思ったのです」

季節ともなれば境内のいたるところに花が咲き乱れる25のお寺。いずれも奈良時代や平安時代などに建立された由緒ある寺ばかり。10名以上の参拝者で予約をすると、住職による花説法（仏教に関する話や花の説明）も行われ、好評を得ている。また各お寺では、各寺院のお堂と代表的な花が描かれている「花お守り」（写真右ページ）を購入することができる。

(p.102) 花とお堂などの絵が描かれたおみくじ。

(p.103) 上・法金剛院の紫陽花

左・浄瑠璃寺の池の周りに咲く黄菖蒲。小敷住職。

●^{かんのんじ}観音寺 京都府福知山市観音寺 1067

Tel. 0773-27-1618 紫陽花、桔梗

●^{りょうごんじ}楞嚴寺 京都府綾部市館町楞嚴寺 6

Tel. 0773-47-0043 ミツバツツジ、蓮

●^{こんごう}金剛院 京都府舞鶴市鹿原 595

Tel. 0773-62-1180 シュウカイドウ、紅葉

●^{こうげんじ}高源寺 兵庫県丹波市青垣町檜倉 514

Tel. 0795-87-5081 ツツジ、紫陽花、紅葉

●^{こうしょうじ}高照寺 兵庫県養父市八鹿寺高柳 1156

Tel. 079-662-2865 木蓮、萩

●^{りゅうごくじ}隆国寺 兵庫県豊岡市日高町荒川 22

Tel. 079-644-0005 牡丹、椿

●^{にょいじ}如意寺 京都府京丹後市久美浜町 1845

Tel. 0772-82-0163 ミツバツツジ、萩、山野草

●^{おうしょうじ}應聖寺 兵庫県神崎郡福崎町高岡 1912

Tel. 0790-22-1077 紗羅、睡蓮

●^{かくりんじ}鶴林寺 兵庫県加古川市加古川町北在家 424

Tel. 0794-54-7053 菩提樹、紗羅

●^{まやさんてんじょうじ}摩耶山天上寺 兵庫県神戸市灘区摩耶山町 2-12

Tel. 078-861-2684 紗羅、紫陽花

●^{えいたくじ}永澤寺 兵庫県三田市永沢寺 210

Tel. 079-566-0401 牡丹、花菖蒲

●^{きゅうあんじ}久安寺 大阪府池田市伏尾町 697

Tel. 072-752-1857 紫陽花、紅葉

●^{ほうこんこういん}法金剛院 京都府右京区花園扇野町 49

Tel. 075-461-9428 蓮、紅葉

●^{こうしようじ}興聖寺 滋賀県高島市朽木岩瀬 374

Tel. 0740-38-2103 老椿、石楠花、紅葉

●^{がんせんじ}岩船寺 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門 43

Tel. 0774-76-3390 紫陽花、睡蓮、紅葉

●^{じょうるりじ}浄瑠璃寺 京都府木津川市加茂町西小札場 40

Tel. 0774-76-2390 杜若、紅葉、馬酔木

●^{ほんにやじ}般若寺 奈良市般若寺町 221

Tel. 0742-22-6287 山吹、紫陽花、秋桜

●^{びやくこうじ}白毫寺 奈良市白毫寺町 392

Tel. 0742-26-3392 五色椿、萩、寒桜

●^{ちやうかくじ}長岳寺 奈良県天理市柳本町 508

Tel. 0743-66-1051 平戸ツツジ、杜若、紅葉

●^{せつこうじ}石光寺 奈良県葛城市染野 38

Tel. 0745-48-2031 牡丹、芍薬

●^{たいまでらさいなんいん}當麻寺西南院 奈良県葛城市當麻 1263

Tel. 0745-48-2202 石楠花、牡丹

●^{せんしゆくじ}船宿寺 奈良県御所市五百家 484

Tel. 0745-66-0036 平戸ツツジ、サツキ

●^{こんこうじ}金剛寺 奈良県五條市野原西 3-2-14

Tel. 0747-23-2185 大山蓮華、牡丹、小菊

●^{こやまじぞうじ}子安地藏寺 和歌山県橋本市菖蒲谷 94

Tel. 0736-32-1774 藤、椿、山茶花

●^{かんしんじ}観心寺 大阪府河内長野市寺元 475

Tel. 0721-62-2134 桜、紅葉、梅

<http://m-toyoura.hp.infoseek.co.jp/map.htm>

東京から日帰りで行ける「花の寺」

p.104

東京から1時間で行ける鎌倉、日帰りで行ける群馬県と茨城県。アクセスがよい花の寺を、東京観光に加えてみては。

しおふわかんのんじ 塩船観音寺 ツツジ

この寺は、西暦645年～650年に現在の福井県南部に800年生きてと言われる尼が、人々を救うために千手観音像を安置したことから始まったといわれている。その尼は、八百比丘尼やおひくにといい、人魚の肉を食べたため、娘の姿のまま生きてという伝説がある。

本堂、仁王門、阿弥陀堂は国指定の重要文化財になっている。この寺はツツジで有名。本堂を下り祈願堂へ向かうと、祈願堂の周辺は船底のように斜面に囲まれている。その斜面一帯に1万7000株ものツツジが植えられ、あでやかに咲き誇る。見どころは4月中旬から5月上旬にかけてで、品種の異なるツツジが次々に咲く。ツツジ園の中には細く通路が設けられており、散策もできる。初夏には紫陽花が見事。塩船観音寺は、都内にある自然景観、都市景観、名所など都民参加で選ばれた「新東京百景」のひとつに選出されている。

東京都青梅市塩船194 Tel.0428-22-6677

拝観/8:00～17:00 交通/JR青梅線河辺駅から西東京団地行きバスで塩船観音寺入口下車徒歩8分

たいけいじ 大慶寺 藤

関東エリア1都6県の花の名所として知られる100余の寺院が、宗派を超えて集まり結成した「東国花の寺百ヶ寺」のひとつ。寺は武士の二大頭領であった平氏と源氏の合戦

の時代(11世紀末から12世紀末)、源義平の菩提を弔うために建立されたもの。義平は鎌倉幕府を開いた源頼朝の兄。総本山は奈良県の長谷寺(p.100)。長谷寺と同じくこの寺も牡丹で有名で、敷地内に、150種3500株の牡丹を見ることができる。牡丹だけでなく桜、紫陽花など一年を通じて花が絶えることはない。とくに牡丹の盛りが過ぎた頃に咲き始める藤は見事。樹齢100年の大木で、1メートル以上の長さになって藤棚からカーテンのように垂れ下がる。紫と薄ピンクの藤があり、心和む光景が広がる。

群馬県太田市新田大根町1000 Tel.0276-57-1077

拝観/9:00～17:00 交通/東武伊勢崎線太田駅から太田新田線バスで新田暁高校前下車徒歩5分

ちようふくじ 長福寺 花菖蒲

1029年に建立された、曹洞宗(禅宗の一派)の寺院。20数年前に開いた花菖蒲園が、現在では300種10万株以上という規模になった「花の寺」。真冬を除いて四季折々の花々は途切れることがなく、5月に入ると牡丹と芍薬が見ごろ、花菖蒲は6月が見ごろとなる。花菖蒲園は株数が多いだけでなく、背景に小型の水車が回っておりのどかな光景が広がる。山上の芍薬園も見応えがある。寺では、寺院の僧たちに食されている精進料理もいただくことができる。7～8品の料理がつくコースで3500円と4500円の2種類がある。食事を楽しみつつ、一日かけてのんびり花見をするのもよい。寺では15年前に仏堂が新たに建立され、その後三十三観音像が安置されているのでこちらも拝観したい。食事は事前に予約のこと。

茨城県久慈郡大子町頃藤3357 Tel.0295-74-0417

拝観/8:00～17:30 交通/JR水郡線上小川駅から徒歩10分

鎌倉 仏像と花の6寺を巡る

p.105

鎌倉は京都、奈良につぐ寺院の多い古都として知られており、「花の寺」も多くある。鎌倉散策はまず鎌倉の北の玄関口、JR北鎌倉駅から鎌倉街道を進み、建長寺へ。1253年に創建された日本で最初の禅の専門道場で、現在でも毎週座禅会が開かれている。この寺は春、桜で知られるが、境内では蓮などほかの花も見られる。

次は街道を北鎌倉駅方面へ少し戻り亀ヶ谷坂を抜けて海蔵寺へ。海蔵寺では、病気を治してくれる仏様である薬師如来像を拝観できる。この土地は地下水脈が豊富で、鎌倉の中でも有数の花がたくさん咲く寺。風情ある寺社建築に、春はカイドウ、桜、石楠花、シャガ、サツキ、山吹などの花が映える。次は浄光明寺へ。5月にはツツジや石楠花が見ごろだ。横須賀線の線路を越えればすぐ英勝寺。ここは鎌倉唯一の尼寺(女性である尼のみがいる寺)で、徳川家康の側室お勝の方が1636年に開いた。春は山吹や野の花が咲く。

もうひとつのおすすめ1日ルートは、鎌倉駅から江ノ電に乗って長谷寺へ。2つの池が配され、その周辺を散策できる回遊式庭園があり、春はアヤメ、牡丹、木蓮、サンシュユなど多くの種類の花が咲く。1年を通じて花が絶えることはなく、鎌倉の海と街が一望できる見晴らし台もあり、鎌倉随一の景勝地になっている。本尊である頭上に10の顔を持つ仏像、十一面観音菩薩も観賞したい。時間があれば隣の駅の極楽寺へ。春は参道の桜並木が見事で、本尊を直接拝めると開帳に合わせて参拝したい。

(p.105) 左上から時計回りに・建長寺の蓮、浄光明寺のツツジ、海蔵寺のカイドウ、英勝寺のショカツサイ、長谷寺の紫陽花、極楽寺の芙蓉

● 建長寺

神奈川県鎌倉市山ノ内8 Tel. 0467-22-0981

拝観/ 8:30 ~ 16:30 交通/ JR横須賀線北鎌倉駅から徒歩16分

● 海蔵寺

神奈川県鎌倉市扇ガ谷4-18-8 Tel. 0467-22-3175

拝観/ 9:30 ~ 16:00 交通/ JR横須賀線鎌倉駅西口から徒歩20分

● 浄光明寺

神奈川県鎌倉市扇ガ谷2-12-1 Tel. 0467-22-1359

拝観/ 境内随時 交通/ JR横須賀線鎌倉駅西口から徒歩17分

● 英勝寺

神奈川県鎌倉市扇ガ谷1-16-3 Tel. 0467-22-3534

拝観/ 9:00 ~ 16:00 交通/ JR横須賀線鎌倉駅西口から徒歩12分

● 長谷寺

神奈川県鎌倉市長谷3-11-2 Tel. 0467-22-6300

拝観/ 9:00 ~ 16:00 交通/ 江ノ島電鉄長谷駅から徒歩5分

● 極楽寺

神奈川県鎌倉市極楽寺3-6-7 Tel. 0467-22-3402

拝観/ 境内 9:00 ~ 16:30 宝物館 10:00 ~ 16:00

交通/ 江ノ島電鉄極楽寺駅から徒歩3分

ひと足早い春を愛でに南の寺へ

p.106

3月に入るとひと足早く春の息吹を感じられる南日本へ、春の花を見つけに出かけませんか。

● 阿弥陀寺 紫陽花

阿弥陀寺は1187年、奈良・東大寺の別院として建てられた別院。この古刹は西日本随一の紫陽花で有名で、寺の開創800年を記念し、地元有志の手によって紫陽花が境内全体に植えられた。「紫陽花の手入れは大変ですが、毎年立派に花を咲かせてくれるのも、地元の方々のご好意のおかげです。毎年少しずつ植えて今では80種類4000株ほどになりました」と住職の林寛孝さん。鬱蒼とした森の中、5

月には色とりどりの紫陽花が咲き、深い緑にしっとりとした情緒を添えてくれる。本堂向かいの紫陽花園をはじめ、境内は紫陽花を觀賞する散策ルートがあるので、ゆっくりと觀賞してみたい。

(p.106 左) 参道の脇を紫陽花が彩る。見ごろは6月いっぱいまで。参拝者にいつでも花を愉しんでもらえるよう、本堂脇には季節の花が活かされている。

山口県防府市牟礼上坂本 1869 Tel.0835-38-0839

拝観 / 9:00 ~ 17:00

交通 / JR 山陽本線防府駅から防長バス阿弥陀寺行きで終点下車すぐ

だいこうぜんじ **大興善寺 ツツジ**

佐賀県と福岡県の県境近くにある大興善寺は、山の斜面一面を埋め尽くすように咲くツツジで有名だ。4月中旬になると裏山一帯の公園が開園し、5万本にも及ぶツツジが爛漫になる。ツツジは平戸ツツジを中心に30種類ほど。濃いピンク、桃色、白とツツジの間を縫うように散策路が設けられている。隅々まで手入れが行き届き、その見事さには参拝客の間から歓声があがる。この公園は80年の歴史があり、ツツジだけでなく杉や檜の大木、秋は紅葉で知られ、季節ごとに変わっていく日本庭園の景観を堪能できる。ツツジや紅葉のシーズンのみ売店も開き、売店ではうどんなどの軽食を、お茶処では和菓子と抹茶をいただける。

(p.106 右) 先代住職の遺志を受け継ぎ、現住職の神原玄應さんはツツジ園の手入れに余念がない。

佐賀県三養基郡基山町大字園部 3628 Tel.0942-92-2627

入園 / 8:30 ~ 日没 交通 / JR 鹿兒島本線基山駅から西鉄臨時バス大興善寺行き終点下車すぐ

てんねいじ **天寧寺**

p.107

高さ20mの三重塔があり、足利2代目将軍義詮が創建した曹洞宗(禅宗)の寺。4月下旬には色とりどりの牡丹が咲く。4月初旬に咲く3本の枝垂れ桜も見事だ。

広島県尾道市東土堂町 17-29 Tel.0848-22-2078

拝観 / 8:30 ~ 17:00 拝観 / JR 山陽本線尾道駅より徒歩15分

ほうあんじ **法安寺**

飛鳥時代の創建とされる四国最大の古刹。境内には20種類ほどの牡丹が植えられ、4月上旬には1000株もの京美人という品種がいつせいに咲き誇る。4月いっぱい楽しめる。

愛媛県西条市小松町北川 1157 Tel.0898-72-2836

拝観 / 7:00 ~ 20:00 交通 / JR 予讃線伊予小松駅より車で7分

ちょうあんじ **長安寺**

薄いピンクの花を咲かせる石楠花が4月中旬から見ごろになる。ほかにも桜、紫陽花、石楠花、もみじなど、四季を通じてさまざまな花と秋は紅葉を楽しめる。

大分県豊後高田市加礼川 635 Tel.0978-27-3842

拝観 / 8:00 ~ 日没 交通 / JR 日豊本線宇佐駅より車で30分

せいりゅうじ **清隆寺**

国後島より持ち帰られた樹齢140年の千鳥桜の老木とその子孫たちが、5月20日頃、見ごろを迎える。これは全国でもその都市一番遅く咲く桜として知られる。

北海道根室市松本町 2-2 Tel.0153-23-2942

拝観 / 自由 交通 / JR 根室本線根室駅より徒歩15分

もうつうじ
毛越寺

仏教の極楽浄土の世界を表現したという毛越寺の庭園には、四季折々の花が咲く。6月下旬には花菖蒲を代表に、梅、桜、ツツジ、蓮、萩など。

岩手県西磐井郡平泉町字大沢 58 Tel. 0191-46-2331
 拝観／8:30～17:00 交通／JR東北本線平泉駅より徒歩8分

ぜんぜんじ
前山寺

室町時代初期の建立と推定される三重塔がある。その塔を背景に咲く藤は傾斜地一面に広がる。緑の山々と三重塔の中で、藤の花の見事さがいっそう引き立つ。

長野県上田市大字前山 300 Tel. 0268-38-2855
 拝観／9:00～16:00 交通／上田交通別所線塩田町駅より車で5,6分

遅い春を愛でに北国の名桜がある寺へ行く

p.108

南北に長い日本列島は、花の咲く時期も南と北では異なる。
 遅咲きの桜を追いかけて、北国を訪ねる。

こうぜんじ
光善寺 桜

松前城は、江戸時代に日本で最後に築城された城だ。その城下町、松前は北海道の小京都とも呼ばれている。町一帯は八重桜の名所としても知られ、1万本余りの桜が、5月上旬、北海道では最も早い見ごろを迎える。町の名所である光善寺は、1575年に建立された仏教の一派である浄土宗の寺。19世紀中頃に造られた風光明媚な庭園があり、なかでも境内に咲く八重桜の古木、「血脈桜」は樹齢280年。松前に咲くほかの八重桜の多くはこの血脈桜の子孫といわれ、松前桜のルーツともいわれている。血脈桜には、200

年ほど前、伐採を決めた住職のもとに桜模様の着物姿の娘が現れ、住職は伐採をやめたという不思議な伝説が残っている。

(p.108 左) 扇形に開いた2本の幹を持つ光善寺の血脈桜。木彫りの細工が施された仁王門。

北海道松前郡松前町字松城 303 Tel. 0139-42-2680
 拝観／自由 交通／JR津軽海峡線木古内駅から函館バス松前出張所行きで松城下車徒歩5分

ふくじゅうじ
福聚寺 桜

みはるちよう
 三春町は有数の枝垂れ桜の名所として知られる。樹齢が1000年ともいわれる「三春の滝桜」をはじめ、町には老木の桜の木が70本もある。10あまりある寺にはそれぞれ樹齢300年から400年の枝垂れ桜があり、4月中旬にはこれらの桜が華やかに咲き誇る。

福聚寺の境内に咲く2本の枝垂れ桜の大きいほうが樹齢470年、もう1本の若い木は年齢不詳とのこと。桜の木の背後には緑鮮やかな竹林があるので、桜のピンクがより一層きれいに見える。

「この桜たちはほとんど寺では手入れをしていませんが、毎年素晴らしい桜を咲かせてくれます。土手にあり根を踏まれないのがよいでしょう」と、副住職。自然のまま、大胆に枝を張る老桜の姿には目を見張るものがある。

(p.108 右) 福聚寺の枝垂れ桜は、背後にある緑の竹林が桜の美しさをより際立たせている。

福島県田村郡三春町字御免町 194 Tel. 0247-62-3690
 (三春町観光協会) 拝観／自由 交通／JR磐越東線三春町駅から徒歩30分。桜のシーズンには三春町よりバスも運行

ぎよくせんじ
玉川寺 クリンソウ

p.109

玉川寺は鎌倉時代の1251年、道元禅師の高弟りょうねんほうみょうの了然法明ぜんじ禅師が開山した曹洞宗(禅宗)の古刹だ。本堂の裏手に広がる庭園も15世紀半ばに作庭されたという由緒あるもの。17世紀半ばには改修されて今日の回遊式蓬萊庭園かいゆうしきほうらいていえんになった。蓬萊庭園とは、山から流れ落ちる自然の滝を配し、大きな池を中心に、周辺の石組みも見事で、国の文化財名勝に指定されている。庭園では見事な枝垂れ桜、ツツジ、ミズバショウ、花菖蒲などの花が、秋は紅葉が楽しめる。また、境内のいたるところに花を咲かせる山野草も種類が豊富で、これら可憐な山野草を楽しみに訪れるファンも多い。山野草はショウジョウバカマ、オモダカ、ヤマオダマキなど。なかでも寺を代表する山野草とっていいクリンソウは、5月下旬、白、桃色、濃いピンクが入り混じって咲き、春爛漫の様相になる。

(p.109 左) 庭園を觀賞しながらお抹茶と和菓子をいただける。クリンソウをかたどった主菓子は、鶴岡市内の和菓子店・遠州屋特製。お抹茶と和菓子で400円。

■ 遠州屋 Tel. 0235-22-1212

クリンソウや藤の絵が描かれた素朴な土鈴。

山形県鶴岡市羽黒町玉川35 Tel. 0235-62-2746

拝観／9:00～17:00 交通／JR 羽越本線鶴岡駅から庄内交通バス羽黒山行きで大鳥居下車徒歩15分

つがねじ
津金寺 ヤマブキソウ

津金寺は、江戸時代、東京と京都を結んだ街道の宿場町である旧中山道芦田宿きゅうなかせんどうあしだじゆくの近く、西に山を背負う田園地帯にある。藁葺き屋根が印象的な仁王門をくぐると本堂を中心に、観音堂など10棟余りの建物が静かに建ち並ぶ。西暦702年に大和薬師寺の著名な僧ぎょうき、行基により開かれた。前の住職やぎきだいごである矢崎大悟さんが40年ほど前にこの山に入ったとき、

裏山は藪で荒れていたが、手入れをするうちに、わずかだったカタクリが群生するようになり、ほかの野草も増えてきたという。カタクリが咲き始めるのは4月の山がまだ冬景色の頃。その1ヶ月後に咲くヤマブキソウは、山手一面に薄く透き通った黄色の色合いの花を咲かせる。

(p.109 右) 群生するカタクリの花。

新緑の中に咲くヤマブキソウは津金寺を代表するもうひとつの野草。

長野県北佐久郡立科町山部279 Tel. 0267-56-0505

花情報専用電話 Tel. 0267-56-2041

拝観／随時 交通／JR 長野新幹線佐久平駅から白樺湖行きのバスで芦田下車徒歩8分